

<運営推進会議における評価>

【事業所概要】

法人名	有限会社 在宅ナースの会	事業所名	看護小規模多機能型居宅介護 ふくふく釜利谷
所在地	(〒 236 - 0045) 横浜市金沢区釜利谷南 2-4-22 白山ハイツ 1 階		

【事業所の特徴、特に力を入れている点】

- ・ご本人とご家族の意向や要望を尊重し、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを最後まで続けていくことができるよう、地域との連携・情報共有を常日頃から意識して取り組んでいます。
- ・笑顔で来所して頂き、笑顔で帰宅して頂けるよう利用者様一人一人に寄り添った介護サービスの提供を心掛けています。

【自己評価の実施概要】

事業所自己評価 実施日	西暦 2020 年 11 月 21 日	従業者等自己評価 実施人数	(15) 人 ※管理者を含む
----------------	---------------------	------------------	------------------

【運営推進会議における評価の実施概要】

実施日	西暦 2020 年 12 月 16 日	出席人数 (合計)	(7) 人 ※自事業所職員を含む
出席者 (内訳)	☐ 自事業所職員 (4 人) ☐ 市町村職員 (人) ☐ 地域包括支援センター職員 (1 人) ☐ 地域住民の代表者 (1 人) ☐ 利用者 (1 人) ☐ 利用者の家族 (人) ☐ 知見を有する者 (人) ☐ その他 (人)		

■ 前回の改善計画の進捗評価

項目		前回の改善計画	実施した具体的な取組	進捗評価
I. 事業運営の評価 (評価項目 1～10)		①災害に対して事業所の置かれている環境に適した具体的な対策の検討と訓練の継続。 ②情報提供・情報共有が円滑に行える環境づくりに努める。 ③職員の声掛けの徹底。 ④職員の休憩時間を計画的に確保し心身ともに休まる環境を作る。	①規定の防災訓練の実施。防災備品の購入と点検を行った。 ②③ミーティングノートの活用や職員間の声掛けの徹底を行い、効率的な情報共有を図った。 ④休憩に対する意識を持ち、お互いに決まった時間に休憩が取れるようにした。	① 定期的な防災訓練により職員の防災への意識が向上している。 ② 効率的な情報提供・情報共有ができています。 ③ 職員間の協力のもと、働きやすい職場づくりに励んでいる。 ④ 休息を取り入れることでサービスの質の向上にも繋がっている。
II. サービス提供等の評価	1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目 11～27)	①研修参加や資格取得により専門的で質の高いサービス提供を行う。 ②目標達成に向けた計画を更に意識して目標達成をするとともに、常に見直せる環境づくりをしていく。 ③専門性を意識した役割分担が行えるよう効果的かつ効率的なサービス提供を目指す。 ④利用者、利用者家族がサービスの概要・趣旨をしっかりと理解できる説明を心掛け、安心して利用して頂けるようにする。	①社内研修の実施や喀痰吸引研修参加により事業所のサービスの質を向上させた。 ②全職員が目標を意識してケアにあたった。 ③看護職・介護職が各々に専門性を意識しながらも職種の隔たりは無くし協働した。 ④サービス利用開始前からの説明を丁寧に行い、利用者・家族が安心してサービスを利用できるよう心掛けた。	① 研修修了者が増えることにより事業所全体のサービスの質が向上している。 ② 目標を意識することで利用者目線の捉え方ができるようになっている。 ③ 職員の専門性が高まっている。 ④ いつでも丁寧な対応ができるようにサービス提供が行われている。

	2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 28～31)	①看護小規模多機能型居宅介護サービスの地域での関わり、役割を意識して多職種連携の充実を図る。 ②緊急時の対応方針を多職種で情報共有できる体制づくりをしていく。	①多職種との連携は迅速に行い看護小規模多機能型居宅介護サービスの役割を意識した。 ②研修を通じて緊急時の情報共有の大切さを理解し体制を構築した。	① 多職種連携の重要性・必要性を理解している。 ②研修においても普段の生活からも緊急時の対応を意識していて情報共有できている。
	3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画 (評価項目 32～41)	①地域への啓発活動を積極的に行えるよう、職員の意識向上と事業所の役割を深く理解していく。 ②継続的に地域行事に参加し、事業所の情報発信をすると共に地域と協力して安心して暮らせる場所づくりに努める。 ③医療ニーズの高い利用者でも積極的に受け入れができる体制づくりを継続して、安心してサービスを受けられる事業所を目指す。	①コロナ禍で十分な啓発活動は行えなかった。 ②町内の行事があれば積極的に参加し地域との連携を図った。 ③受け入れ体制を構築し自信を持って受け入れられる事業所を目指した。	① ②活動に制限がある中、できる限りのことは行っている。 ③看護小規模多機能型居宅介護のサービスを意識し柔軟な受け入れ態勢を構築している。
Ⅲ. 結果評価 (評価項目 42～44)		①事業所の役割を職員全員が理解できるよう社内研修の実施や外部研修への参加を積極的に行っていく。 ②サービスの導入によりどのような効果があるのか、また期待されているのかを意識しサービス向上に努める。	①社内研修を行い、事業所としての役割の理解を深めた。 ②在宅生活の意義を理解し利用者に寄り添ったサービスの提供に努めた。	①定期的な社内研修が行われている。職員がサービスの理解を深めようとしている。 ②在宅生活の継続に向け、職員一人一人が協力し合って支えている。

※「前回の改善計画」および「実施した具体的な取組」は事業所が記入し、「進捗評価」は自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します

■ 今回の「評価結果」および「改善計画」

項目		評価結果	改善計画
Ⅰ. 事業運営の評価 (評価項目 1～10)		災害への意識が高まり事業所としても防災備品が充実してきている。地域との情報提供、情報共有を行うことで対策を講じることができている。 職員一人一人が意識することにより、より良い職場づくりができている。それがサービスの質の向上に繋がっている。	①法人の理念を再確認いつでも実践できる体制を整える。 ②社内外の研修参加を積極的に行い、専門性を高められるよう努力する。 ③働きやすい職場づくりに励み、質の良いサービス提供に繋げる。 ④緊急時の具体的な対応方法の周知を行う
Ⅱ. サービス提供等の評価	1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目 11～27)	事業所として求められているサービス提供ができるよう、専門的な研修参加や資格取得をしており、利用者に応じた目標設定ができる体制づくりをしている。	①利用者・家族に目標達成に向けた計画がもっとわかりやすく明確なものとなるよう支援していく。 ②看護職・介護職の両職種間の連携を強化しお互いの専門性を最大限に引き出せるよう、情報提供と情報共有を行う。 ③利用者・家族がサービスの内容を理解できるよう分かりやすい説明を行い、在宅生活を継続していける専門的なサービスの提供に努める。
	2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 28～31)	事業所内に留めることなく、情報提供・情報共有を意識しており多機関との繋がりを大事にしている。	多職種・多機関との連携によりサービス提供の充実を図るとともに緊急時対策を医療機関と共有し関わる全職員が対応可能な体制づくりをする。
	3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画(評価項目 32～41)	医療ニーズの高い利用者でも安心してサービスを受けられる事業所として意識している。啓発活動としては不十分などところがあるが地域からの周知をしてもらい、情報発信ができるとよい。	①地域への啓発活動を改善し、事業所およびサービス内容の周知を図り事業所の果たすべき役割を再認識できるようにする。 ②痰吸引・人工呼吸器・看取り支援を必要とする方の受け入れ体制を継続していくとともに積極的な受け入れを行う。
Ⅲ. 結果評価 (評価項目 42～44)		事業所が提供するサービスに安心感が得られるよう全職員が協働し、在宅生活の支援にあたっている。	サービスの導入により、利用者・家族が安心して在宅生活を送れるよう継続的な支援を行い、終末期においても不安なく過ごしていただける体制づくりを行う。

※自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します

■評価表 [事業所自己評価・運営推進会議における評価]

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
Ⅰ 事業運営の評価【適切な事業運営】							
(1) 理念等の明確化							
① 看護小規模多機能型居宅介護の特徴を踏まえた理念等の明確化とその実践							
1	○ サービスに求められる「①医療ニーズの高い利用者の在宅生活の継続支援」、「②在宅での看取りの支援」、「③生活機能の維持回復」、「④家族の負担軽減」、「⑤地域包括ケアへの貢献」を含む、独自の理念等を掲げている	15	0	0	0	インターネット等で施設の情報を見ているかということ、なかなかそういったこともないので、実際に施設内に入って初めてサービスの内容や雰囲気を感じることができました。	✓ ①～⑤の全てを含む理念等がある場合は「よくできている」 ✓ ①～⑤の一部を含む理念等が掲げられている場合は、「おおよそできている」もしくは「あまりできていない」 ✓ 独自の理念等が明確化されていない場合は「全くできていない」
2	○ サービスの特徴および事業所の理念等について、職員がその内容を理解し、実践している	15	0	0	0	理念と一言で言ってもとても難しい事だと思いますが、職員の皆さんの笑顔が物語っているように感じます。	✓ 「サービスの特徴および理念等を踏まえた実践」の充足度を評価します ✓ 独自の理念等が明確化されていない場合は「全くできていない」

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
		・事業所理念は職員がいつでも意識できる 場所に掲示し日々の業務担当表にも理念 を記載し意識づくりを行っている。					
(2) 人材の育成							
① 専門技術の向上のための取組							
3	○ 職員との話し合いなどを通じて、各職員の中長期的な育成計画などを作成している	4	7	2	2		✓ 「育成計画の作成」の状況について、充足度を評価します
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・新人研修、外部研修、社内研修の計画が毎年あり職員の育成計画を作成している。 ・職員へ育成研修の参加をさせている。 ・リーダー業務、夜勤業務が担えるよう教育が行われている。 ・育成計画が周知されていない。					
4	○ 法人内外の研修を受ける機会を育成計画等に基づいて確保するなど、職員の専門技術の向上のための日常業務以外での機会を確保している	13	2	0	0		✓ 「専門技術の向上のための日常業務以外での機会の確保」について、充足度を評価します
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・喀痰吸引研修や認知症実践者研修、管理者研修など計画に沿った研修参加ができている。 ・ダイレクトメールやFAX で届いた法人外の研修案内は対象者に通知し参加を促している。 ・社内研修においても外部講師に依頼し				資格が必要な時代になってきているので計画的な資格取得が必要だが、人員不足も色々な施設で聞いているので大変だと思う。	

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	およそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
		専門知識の習得に励んでいる。					
② 介護職・看護職間の相互理解を深めるための機会の確保							
5	○ 介護職・看護職・介護支援専門員の間で、職員が相互に情報を共有する機会が、確保されている	15	0	0	0		✓ 「情報を共有する機会」の充足度を評価します ✓ 例えば「利用者等の具体的なケースについて話し合うための、定期的なカンファレンスの開催」などが考えられます
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・ 毎朝行われているミーティング時とミーティングノートによる情報共有と必要時には職員全員の認識共有ができるよう話し合いの場が作られている。 ・ 定期的なカンファレンスの開催にて情報共有ができています。 ・ 理解がしにくい内容においては個別でも質問がしやすい環境づくりができています。 ・ 利用者の状態変化や新規利用者の情報共有ができています。					
(3) 組織体制の構築							
① 運営推進会議で得られた意見等の反映							
6	○ 運営推進会議で得られた要望、助言等を、サービスの提供等に反映させている	15	0	0	0	コロナ禍で大変な中、感染症対策をしっかりと講じて運営推進会議が開けているのは素晴らしいと思います。	✓ 「得られた要望・助言等のサービスへの反映」の視点から、充足度を評価します
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・ 二か月ごとに開催されている会議で得られた利用者、家族からの要望に対応できるようにしている。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
		・ 地域からの情報提供も行われ助言等をいただきサービスへの反映を心掛けている。 ・ 毎回の運営推進会議を外部評価の場と捉え事業所の見直しおよびサービスへの反映を行っている。					※アクリル板の活用、手指消毒の徹底とバクテクターO ₃ により空気清浄・除菌の効率を高めた。
② 職員が安心して働くことができる就業環境の整備							
7	○ 職員が、安心して働くことができる就業環境の整備に努めている	8	6	1	0	相変わらず人員確保が大変だというお話をどの施設でも聞きます。引き続き事業所のご苦労があるかとは思いますが頑張ってください。	✓ 「職員が、安心して働くことのできる就業環境」の充足度を評価します ✓ 例えば、「職員の能力向上の支援」、「精神的な負担の軽減のための支援」、「労働時間への配慮」などが考えられます
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・ 職員個々に合った勤務形態を取り入れている。 ・ 精神的負担軽減については管理者等に個別に気軽に相談できる雰囲気作りができています。 ・ 職員の能力向上のため具体的なアドバイスや指導を行っている。 ・ 職員の体調不良や家庭の事情で勤務変更があるときの協力体制がしっかりとできています。 ・ 専門的な資格取得により安心して医療ニーズの高い利用者に対してもケアに当たることができる。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足	
		よく できて いる	およそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い			
(4) 情報提供・共有のための基盤整備								
① 利用者等の状況に係る情報の随時更新・共有のための希望環境整備								
8	○ 利用者等の情報について、 随時更新を行うとともに、 必要に応じて職員間で迅速 に共有できるよう工夫され ている	12	3	0	0	<u>【具体的な状況・取組内容】</u> ・毎朝のミーティングにより利用者の情 報、状況について共有できている。 ・業務中においても管理者への報告が徹 底されており迅速な情報共有が行えるよ うにしている。	✓ 「情報の随時の更新」と「職員間 で迅速に共有するための工夫」の 2つの視点から、充足度を評価し ます	
(5) 安全管理の徹底								
① 各種の事故に対する安全管理								
9	○ サービス提供に係る利用者 等および職員の安全確保の ため、事業所においてその 具体的な対策が講じられて いる	8	7	0	0	<u>【具体的な状況・取組内容】</u> ・ケア事故の予防対策と事故・ヒヤリハ ット検討会を実施し職員への意識づくり を徹底している。個人情報においては鍵 のついた書庫に保管し安全確保を講じて いる。 ・各種の事故予防・対策においては社内	介護事故はつきもののだとは 言われていますが、事故を無 くするための研修等も開いて いるかと思しますので役立 ててもらい一つでも減らせ るといいと思います。 ドライブレコーダーの装着	✓ 「各種の事故に対する予防・対策」の充 足度を評価します 対策が求められる事項としては、例えば 「医療・ケア事故の予防・対策」、「交通 安全」、「夜間訪問時の防犯対策」、「個人 情報保護」などが考えられます

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
		研修で周知徹底した対策が取られている。 ・各事業所において防災委員、研修委員を選出し対策を強化している。 ・安全運転管理者による情報発信と情報共有により交通安全対策を講じている。 全車両にドライブレコーダーを設置し運転者への精神的負担を軽減し事故予防に繋げている。				が必須の時代となって来ていて、事故原因究明や自分を守る意味でも必要。	
② 災害等の緊急時の体制の構築							
10	○ 災害などの緊急時においても、サービス提供が継続できるよう、職員、利用者、関係機関の間で、具体的な対応方針が共有されている	6	9	0	0	日中の災害は人手があるが、夜間帯は施設においても近隣を通行している人も極端に少ない為、こういった施設がある事をもっと周知してもらい、施設内での対策はもちろんのこと、近隣の方々との協議も必要かと思います。	✓ 「緊急時におけるサービス提供のための備え」について、充足度を評価します ✓ 例えば、「安否確認方法の明確化」、「連絡先リストの作成」、「医療材料などの確保」、「災害時ケアのマニュアル化」などが考えられます
		【具体的な状況・取組内容】 ・防災委員が主導となり、定期的な会議を開いている。 ・災害時のマニュアルの更新を行い、職員への周知を行っている。防災備品、災害時の医療品の確保を積極的に行っている。 ・規定の防災訓練を実施し、有事に備え					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
		ている。 ・台風では危険区域の利用者への安否確認を迅速に行い必要時は事業所への非難を促している。					
Ⅱ サービス提供等の評価							
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供							
(1) 利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成							
① 利用者等の 24 時間の暮らし全体に着目した、介護・看護両面からの一体的なアセスメントの実施							
11	○ 在宅時の利用者の生活状況や家族等介護者の状況等を含む、利用者等の 24 時間の暮らし全体に着目したアセスメントが行われている	14	1	0	0	本人の事と家族のことも気にかけていてくれるのが伝わります。自分が介護を受けながらも何もしてあげられないことが悔しいです。	✓ 「家族等も含めた 24 時間の暮らし全体に着目したアセスメント」の充足度を評価します ✓ ケアが包括的に提供される看護小規模多機能型居宅介護においては、家族等を含めた 24 時間の暮らし全体に着目したアセスメントが必要となります
		[具体的な状況・取組内容] ・利用者、家族の情報をアセスメントし個々に合ったサービスの提供ができるようケアプランを作成している。 ・利用者の状況に応じて多職種連携を図り日々情報収集をし 24 時間体制で支援できるようアセスメントが行われている。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	およそ でき てい る	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
12	○ 介護職と看護職がそれぞれの視点から実施したアセスメントの結果が、両職種の間で共有されている	14	1	0	0		✓ 「介護職と看護職間でのアセスメント結果の共有」について、充足度を評価します ✓ 介護・看護の両面から行われたアセスメントの結果は、その後のつき合わせなどを通じて、両職種で共有されることが望ましいといえます
② 利用者等の「尊厳の保持と自己実現の達成」を重視した計画の作成							
13	○ 家族を含む利用者等の考えを把握するとともに、その目標の達成に向けた計画が作成されている	11	4	0	0	私たちのことを良く考えてやってくれていると思いますが、はっきりとした自分の目標を持つこと自体が難しい年齢になってきました。今を生きることには精一杯です。	✓ 「家族等の考えを含めた計画の作成」について、充足度を評価し利用者のみでなく、家族等の考えを適切に把握するとともに、その考えを含めた計画を作成することは重要であるといえます
14	○ 利用者の有する能力を最大	13	2	0	0		✓ 「利用者の有する能力を活かし

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	およそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
	限に活かした、「心身の機能の維持回復」「生活機能の維持又は向上」を目指すことを重視した計画が作成されている	<u>【具体的な状況・取組内容】</u> ・利用者の有する能力を活かし心身機能や生活機能が維持できるよう具体的にプランが作成されている。 ・利用者の現在有する能力を無理のない範囲で心身機能の維持回復を図り重度な利用者においては完全な寝たきり状態にならないための計画が作成されている。 ・車いすに頼らず可能な範囲で歩行を行うようにしている。				どのような関わり方がなされているのかは外部からは分かりませんが、施設内を見させていただくとできているのではないかと思います。	た、心身機能の維持回復を重視した計画の作成」について、充足度を評価します ✓ 「利用者が尊厳を持って、その有する能力に応じ地域において自立した日常生活を営む」ために、必要な視点であるといえます
③ 利用者の今後の状況変化の予測と、リスク管理を踏まえた計画の作成							
15	○ 利用者の今後の状況変化の予測と、リスク管理を踏まえた計画が作成されている	12	3	0	0	看護小規模の強みは何と言っても看護師さんが常駐していて安心感が得られることだと思います。介護士さんとの連携により状況の把握はできているのではないのでしょうか。	✓ 「状況変化の予測」と「リスク管理」の2つの視点から、充足度を評価します ✓ 介護・看護が一体的に提供される看護小規模多機能型居宅介護においては、特に看護職による予後予測などを踏まえて計画を作成することが重要です
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> ・病態に伴い病状の変化を予測し異常の早期発見に努めている。 ・看護職、介護職より状況の変化がみられた時は情報共有しリスク管理を行っている。 ・利用者の状況変化が予測できる場合は家族に説明しケア内容、方法を計画し実施している。 ・状況の変化の予測とリスク管理は主治医、ケアマネ、看護職と連携し計画が作					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	およそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
		成されている。					
(2) 利用者等の状況変化への迅速な対応とケアマネジメントの実践							
① 継続したアセスメントを通じた、利用者等の状況変化の早期把握と計画への反映							
16	○ サービス提供を通じた継続的なアセスメントにより、利用者等の状況変化を早期に把握し、計画への適宜反映が行われている	9	5	1	0	<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・状況変化は日々の観察により早期発見ができており適宜反映されている。 ・異常を早期発見した時点で主治医に報告し多職種で情報共有し再アセスメント後計画実施している。 ・ケアプランの作成時、および変更時に反映された内容の説明が不十分な時があるのでミーティング等で十分な情報発信を行えるとよい。 ・利用者への関わりの中で得られた情報や状態、状況の変化は早期に報告され看護・介護職間で共有しアセスメントしたうえで計画への追加、修正が行われている。	✓ 「早期の把握」と「計画への適宜反映」の2つの視点から、充足度を評価します
② 居宅への訪問を含む、利用者等の暮らし全体に着目したアセスメントの実施と計画への反映							
17	○ 通い・泊まりの利用に過度に偏らないよう、適時適切に利用者宅を訪問すること	14	1	0	0	<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・適宜利用者宅を訪問し電話やメールで	✓ 「訪問による、家族等を含めた居宅での生活状況の変化の継続的な把握」という視点から、充足度

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
	で、家族等を含めた居宅での生活状況の変化を継続的に把握している	連絡を取り利用者、家族の生活状況を把握できるよう努めている。 ・生活状況や家族の意向、介護負担を把握し通い、宿泊サービスの調整を行っている。 ・看護職による訪問時にも生活の状況を把握しサービスの調整を行っている。				ていけたらいいですね。	を評価します ✓ 訪問によるケアの提供は、家族等を含めた居宅での生活状況を把握するためにも重要です
③ 利用者等の状況変化や目標の達成状況等に関する関係多職種との情報共有							
18	○ 利用者等の状況変化や目標の達成状況等について、主治医など、事業所内外を含む関係多職種と情報が共有されている	12	2	1	0	自分では分からないようなことを先生方に情報提供をしていただき、助かっています。またその場では聞き返しにくいようなことを後から分かりやすく教えてくれるので心強いです。	✓ 「利用者等の状況変化や目標の達成状況等の事業所内外を含む関係多職種との情報共有」について、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] ・毎月主治医への報告書を作成し状況変化や計画変更等を報告して情報を共有している。 ・主治医、薬剤師、他事業所の ST、PT への情報共有を図り計画へ反映されている。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	およそ でき てい る	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
(3)介護職・看護職の協働による一体的なサービスの提供							
① 介護職と看護職の相互の専門性を生かした柔軟なサービスの提供							
19	○ 介護職と看護職のそれぞれの専門性を最大限に活かしながら、柔軟な役割分担が行われている	12	3	0	0	職員さんは、とても仲良く働いている印象があります。内情はもちろん分かりませんが……。そのような職場であれば協力し合って各々の役割を果たせるのではないのでしょうか。	✓ 「介護職と看護職の専門性を活かした役割分担」について、充足度を評価します ✓ 介護・看護が一体的に提供される看護小規模多機能型居宅介護では、効果的・効率的なサービス提供のために、各々の専門性を活かした役割分担や、業務の状況等に応じた柔軟な役割分担を行うことが重要です
20	○ 利用者等の状況について、介護職と看護職が互いに情報を共有し対応策を検討するなど、両職種間の連携が行われている	12	3	0	0	体調が悪かったりするとほとんどの職員さんから声を掛けられるので、自分のことを見ていてくれるんだなと安心しています。	✓ 「介護職と看護職の情報共有および対応策の検討」について、充足度を評価します

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
		ており申し送りノートの活用により全職 員が状況を把握できるようにしている。					
② 看護職から介護職への情報提供および提案							
21	○ 看護職から介護職に対し て、疾病予防・病状の予後予 測・心身の機能の維持回復 などの観点から、情報提供 や提案等を行っている	14	1	0	0		✓ 「看護職の専門性を活かした、介 護職への情報提供や提案等」につ いて、充足度を評価します ✓ このような情報提供や提案等は、 看護職の専門性を活かした役割 の1つとして期待されます
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> ・日々のミーティングで看護職からの情 報提供や提案が行われている。 ・介護職が看護職の専門性を理解し役割 を意識することで情報提供や提案が効率 よく行われている。 ・看護職より利用者個々の処置、注意点、 状況の変化の予後予測が落とし込まれて いる。					
(4)利用者等との情報及び意識の共有							
① 利用者等に対するサービスの趣旨及び特徴等についての情報提供							
22	○ サービスの趣旨および特徴 等について、分かりやすく 説明し、利用者等の理解を 得ている	13	1	1	0	言葉は噛み砕いて伝えてく れていると思いますが、なか なか理解はできません。 地域への情報提供はもっと あってもよいのではないで しょうか。	✓ 「利用者等の理解」について、充 足度を評価します
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> ・利用前に、利用者および可能であれば 利用者本人に事業所の見学に来ていただ きサービスの趣旨、特徴を十分に説明し ている。契約時も再度説明することによ り理解が深まるよう努めている。 ・サービス開始後もいつでも相談がしや					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
		すい体制づくりを心掛けています。					
② 利用者等への「在宅での療養生活」に係る指導・説明							
23	○ 作成した計画の内容や在宅での療養生活の継続に向けて留意すべき点等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている	14	1	0	0	文章は分かりやすかもしれませんが、自分がその目標に向き合えるかは分かりません。	✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・ケアマネより作成された計画の説明がなされている。計画書には利用者に分かりやすい文言を使用するようにし説明時にも専門用語は控えるようにしている。質問に対しても丁寧に返答するよう心掛けています。 ・具体的なイメージがもてるようにサービスの内容を細かく説明している。					
24	○ 利用者等が行う医療処置や医療機器の取り扱い方法、家族等が行うケアの提供方法等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている	14	1	0	0	老々介護の方々が増えていますが、そういった方が在宅生活を続けて行けるよう看護師さんには頑張ってくださいたいです。	✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・看護職による訪問を行い指導、助言をしている。家族と一緒に処置やケアを行いながら丁寧に説明をしている。習得するまでは何度でも訪問、説明を行っている。 ・看護職であっても、利用者・家族が相談しやすい接し方を心掛け、安心感を持					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
		って頂いている。 ・吸引器や在宅酸素においては業者によりさらに詳しく正確な説明が行われるよう注意を払っている。					
③ 重度化した場合や終末期における対応方針の、利用者等との相談と共有							
25	○ 利用者本人（意思の決定・表示ができない場合は家族等）の希望や意向を把握し、サービスの提供に反映している	15	0	0	0		✓ 「サービス提供への適切な反映」について、充足度を評価します
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> ・終末期においては家族の希望・意向について主治医を含め面談を行いサービスの提供を行なっている。また状況はその都度家族に伝えている。 ・利用者の状況に応じたサービスの提供ができるよう随時主治医との連携をしている。状態の変化には即座に対応できる体制づくりがされている。					
26	○ 在宅生活の継続の可否を検討すべき状況を予め想定し、その際の対応方針等について、利用者等と相談・共有することができている	11	4	0	0	在宅生活の継続が難しくなったからと言ってすぐに別の施設が見つかる保証はないので見極めが大事なものと早めに対策を検討しておくことが重要かと思います。	✓ 「将来に発生し得る様々なリスクを想定した上での、対応策の検討と共有」について、充足度を評価します
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> ・契約時において現状と予測できる将来の状況を説明し、相互で把握する事で共通認識を持ち対応方針の説明を行っている。 ・現在の病状を利用者・家族に理解して					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	およそ でき てい る	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
		頂き今後予測されるリスクの対応策を提示し他職種で連携されている旨を説明することで相談、情報共有を行っている。 ・日頃から家族とのコミュニケーションを図ることで想定しうるリスクの対応策を相談しやすい環境を作っている。					
27	○ 終末期ケアにおいて、利用者等に適切な時期を見計らって、予後および死までの経過を丁寧に説明し、説明した内容や利用者等の意向等を記録として残している	15	0	0	0	在宅での看取りが多くなっている中、重要な役割を担ってくれていると思います。利用者様が理解し納得してご利用されることが一番です。	✓ 「予後および死までの経過の説明」と「記録の有無」の2つの視点から、充足度を評価します ✓ 「丁寧に説明し」且つ「記録として残している」場合は「よくできている」
2. 多機関・多職種との連携							
(1) 病院・施設等との連携による円滑で切れ目のないケアの提供							
① 病院・施設等との連携や情報共有等による、在宅生活への円滑な移行							
28	○ 病院・施設等との連携・情報共有等により、病院・施設等からの、利用者の円滑な在宅生活への移行を支援している	14	1	0	0		✓ 「利用者の円滑な在宅生活への移行」について、充足度を評価します ✓ 例えば、「退院・退所前のカンファレンスへの参加」、「利用者等に係る病院・施設等との継続した情報
		[具体的な状況・取組内容] ・主治医より終末期の説明が行われた場合は利用者・家族の理解度と状況の受容度を確認し必要に応じて説明を行っている。説明を行った時は記録として残している。 ・訪問時または面会時に現状を丁寧に分かりやすく説明し理解を得ている。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	およそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
		退院までに情報共有を行い、家族の不安 や疑問点を解消し安心して在宅生活へ移 行できるようにしている。 ・主治医との連携をスムーズに行われる よう情報共有は常に行っている。					共有」などの取組が考えられます
② 入院・入所の可能性がある利用者についての、主治医等との対応方針の共有							
29	○ すべての利用者について、 緊急時の対応方針等を、主 治医等と相談・共有するこ とができている	14	1	0	0	緊急時リストが作成されて ると思いますが、その活用方 法を職員の皆さんで話し合 われることが理想です。	✓ 「緊急時の対応方針等の主治医 等との相談・共有」を評価します ✓ 利用者の状態変化・家族等介護者 の状況の変化など、実際に発生す る前の段階から予め対応方針等 を主治医等と相談・共有しておく ことが重要です
③ 地域の医療機関等との連携による、急変時・休日夜間等に対応可能な体制の構築							
30	○ 地域の医療機関等との連携 により、休日夜間等を含め て、すべての利用者につい て、急変時に即座に対応が 可能な体制が構築されてい る	13	2	0	0	訪問診療を利用されていな い方の緊急時は判断が難し いと思いますが、看護師さん の常駐および夜間の対応を 聞くと安心できるのではな いでしょうか。	✓ 「即座な対応が可能な体制の構 築」について、充足度を評価しま す

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
		ている。 ・休日、夜間も含めて 24 時間連絡が取れる体制を取り緊急時の対応方針を利用者・家族と共通認識できるよう対策が行われている。					
(2) 多職種との連携体制の構築							
① 運営推進会議等における、利用者のために必要となる包括的なサポートについての、多職種による検討							
31	○ 運営推進会議等において、利用者のために必要と考えられる包括的なサポートについて、民生委員・地域包括支援センター・市区町村職員等への情報提供や提案が行われている	13	2	0	0	もっとお互いに情報共有の場を持って活動出来たらいいですね。 民生委員様との情報共有も地域を支えていく上では必要不可欠です。	✓ 「利用者のために必要となる、介護保険外のサービスやインフォーマルサポート等を含めたケアの提供について、多職種とともに検討・支援を行っていくなどの取組」の充足度を評価します ✓ そのような取組をしたいことがない場合は「全くできていない」 ✓ 民生委員のみでなく、自治会長や町会長などの住民代表も対象です
3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画							
(1) 地域への積極的な情報発信及び提案							
① サービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報の発信							
32	○ 運営推進会議の記録について、誰でも見るような方法での情報発信が、迅速に行われている	15	0	0	0		✓ 「誰でも見るができる方法での情報発信」と「迅速な情報発信」の2つの視点から、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] ・運営推進会議の報告書を出来る限り迅速に行政に提出している。 ・事業所での閲覧はいつでもできるよう					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	およそ でき てい る	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
		にファイルに保管されている。					
33	○ サービスの概要や地域において果たす役割等について、正しい理解を広めるため、地域住民向けの積極的な啓発活動が行われている	11	4	0	0	まだ看護小規模の魅力が伝わっていないと思います。在宅支援に必要なサービスだということをもっとアピールして行ってください。	✓ 「積極的な啓発活動」について、評価する項目です ✓ 例として、「チラシ等の配布」や「地域説明会の実施」などの取組が考えられます。 ✓ 利用者や職員の確保のみを目的とした活動等は除きます
(2) 医療ニーズの高い利用者の在宅での療養生活を支える、地域拠点としての機能の発揮							
① 看護小規模多機能型居宅介護事業所の登録者以外を含む、地域への訪問看護の積極的な提供							
34	○ 看護小規模多機能型居宅介護事業所の登録者以外を対象とした訪問看護を積極的に実施している	0	0	5	10		✓ 「指定訪問看護事業所の指定を併せて受けている事業所」のみが対象です。該当しない場合は、実施状況欄は無記入で、[具体的な状況・取組内容]欄に「指定なし」と記入してください ✓ 「登録者以外を対象とした訪問看護」を実施していない場合は、「全くできていない」
		[具体的な状況・取組内容] ・ 現在は事業所の登録者以外の訪問看護は実施していない。事業所登録の利用者の重度化に伴い、看護師の人員体制が外部の利用者まで及ばない現状がある。 ・ 相談、依頼があれば積極的に関わる体制は構築できている。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	およそ でき てい る	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
							✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します
② 医療ニーズの高い要介護者の積極的な受け入れ							
35	○ 「たん吸引」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている	15	0	0	0	喀痰吸引に限らず看護小規模には医療ニーズの高い方の受け入れが多くなっているので大変だと思います。	✓ 「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください ✓ 「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・喀痰吸引研修への積極的な参加により資格保持者が増え、受け入れ体制が万全な状況にある。 ・毎年計画的に喀痰吸引研修への参加を職員へ促し、資格取得を行っている。					
36	○ 「人工呼吸器」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている	10	4	1	0		✓ 「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください ✓ 「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・現時点まで人工呼吸器の利用者の受け入れはしていないが、相談・依頼があれば積極的に受け入れる体制は整っている。職員の重度者への理解も浸透しており安心して利用して頂ける状況が構築できている。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	およそ でき てい る	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
37	○ 「看取り支援」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている	15	0	0	0	看取りができる施設が増えていく中でも、看護小規模の役割は大きいと思うので受け入れができる体制づくりを継続していただきたいです。	✓ 「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください ✓ 「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の観点から、充足度を評価します
(3) 地域包括ケアシステムの構築に向けての、まちづくりへの参画							
① 行政の地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画の理解							
38	○ 管理者および職員が、行政が介護保険事業計画等で掲げている、地域包括ケアシステムの構築方針や計画の	5	10	0	0	地域との連携をより一層深く取るようにして地域で在宅支援を行っていただけるよう努力していきます。	✓ 「内容等の理解」について、その充足度を評価します ✓ 地域包括ケアシステムの構築にあたっては、その中で各々が果たすべき役割を、明確に理解するこ

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
	内容等について理解している	・職員全体の明確な理解につながるよう 研修等で話し合いを継続している。					とが必要であるといえます ✓ 地域包括ケアシステムの構築方 針や計画などがない場合は、「全 くできていない」
② サービス提供における、(特定の建物等に限定しない) 地域への展開							
39	○ サービスの提供エリアにつ いて、特定の集合住宅等に 限定せず、地域に対して積 極的にサービスを提供して いる	15	0	0	0	金沢区全域で送迎車両を見 かけます。	✓ 「特定の集合住宅等に限定しな い、地域への積極的な展開」につ いて、充足度を評価します ✓ 看護小規模多機能型居宅介護は、 特定の集合住宅等に限定するこ となく、地域全体の在宅療養を支 える核として機能していくこと が期待されます ✓ 特定の集合住宅等のみを対象と している場合は「全くできていな い」
③ 安心して暮らせるまちづくりに向けた、関係者等への積極的な課題提起、改善策の検討等							
40	○ 介護・看護の観点から、地 域の関係者に対し、必要に 応じて課題提起や改善策の 提案等が行われている	13	2	0	0	社会資源がまだまだたくさ んあるので活用していつて いただきたい。	✓ 「課題提起や改善策の提案等の 取組」について、その充足度を評 価します ✓ 今後は、サービスの提供等を通じ て得た情報や知見、多様な関係者 とのネットワーク等を活用し、必 要となる保険外サービスやイン

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	およそ でき てい る	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
		った時など必要となる支援や様々なサービスへ繋がるよう関係者への情報提供を心掛けている。 ・外部研修（事例検討会）で多職種との情報共有を行う事で課題提起や改善策に向けた検討を行っている。 ・介護保険外のサービスにも繋げて行ける様、情報を収集している。					フォーマルサービスの開発・活用等、利用者等のみでなく地域における課題や改善策を関係者に対して提案していくなどの役割も期待されます ✓ そのような取組をしたことがない場合は、「全くできていない」
41	○ 家族等や近隣住民などに対し、その介護力の引き出しや向上のための具体的な取組等が行われている	15	0	0	0	地域全体をいかに巻き込んで在宅支援に繋げていけるかが課題ではないでしょうか。色々な家族の在り方というものがあるので押しつけがましくなく理解を求めていくのも大事かと思います。	✓ 「家族等や近隣住民に対する、介護力の引き出しや向上のための取組」について、その充足度を評価します ✓ 今後は、利用者への家族等や近隣住民の関わりを促しながら、関係者全員の介護力を最大限に高めることにより、在宅での療養生活を支えていくための環境を整えていくなどの役割も期待されます

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	およそ でき てい る	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
Ⅲ 結果評価				
① 計画目標の達成				
42	○ サービスの導入により、利用者ごとの計画目標が達成されている	1. ほぼ全ての利用者について、達成されている（11名） 2. 利用者の2/3くらいについて、達成されている（4名） 3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている 4. 利用者の1/3には満たない <u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・利用者、家族が目標達成に近付けるよう支援している。目標への理解を深めるよう利用者に寄り添った支援を行っている。 ・状況の変化に応じた計画目標にすることで利用者が達成できるようサービスの提供をしている。		✓ 「計画目標の達成」について、評価します

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
② 在宅での療養生活の継続に対する安心感				
43	○ サービスの導入により、利用者およびその家族等において、医療が必要な状況下においての在宅での療養生活の継続に対し、安心感が得られている	1. ほぼ全ての利用者について、達成されている（15名） 2. 利用者の2/3くらいについて、達成されている 3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている 4. 利用者の1/3には満たない <u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・医療が必要な状況で利用開始されても、利用中に医療が必要となっても、在宅生活が継続できる支援計画を提示すると共に、看護職による丁寧な説明により安心感を得ている。 ・看護小規模多機能型居宅介護サービスの訪問介護・訪問看護の提供により顔なじみの職員が接する事で医療が必要な状況においてもいつでも相談しやすい環境を作ることによって安心して療養生活を送ることができる。	この場では一人一人に意見を聞くことはできませんが看護小規模のサービスにより安心感は得られているのではないのでしょうか。	✓ 在宅での看取りを除く、全ての利用者およびその家族等に対し、サービスの提供により実現された「医療が必要な状況下においての、在宅での療養生活の継続に対する安心感」について、評価します

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
44	○ サービスの導入により、在宅での看取りを希望する利用者およびその家族等において、在宅での看取りに対する安心感が得られている	1. ほぼ全ての利用者について、達成されている（15名） 2. 利用者の2/3くらいについて、達成されている 3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている 4. 利用者の1/3には満たない 5. 看取りの希望者はいない <u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・看取りへの不安を取り除けるよう、どんな小さな疑問点や不安にも親切丁寧に接する事で家族等の安心感を得ている。 ・在宅での看取りを迷われている家族にはサービスの内容をしっかりと説明し看取りへの理解を得てから利用を開始するようにしている。 ・利用者、家族が納得のいく看取りの提供が出来るよう全職員で協働している。 ・状況の変化を迅速に主治医に報告しその内容を家族に情報提供する事でさらなる安心感に繋げている。	安心感は得られていると思います。	✓ 在宅での看取りを希望する利用者およびその家族等に対し、サービスの提供により実現された「在宅での看取りに対する安心感」について、評価します ✓ 在宅での看取りは、事業所内（通い・泊まり）での看取りを含みます ✓ 在宅での看取りの希望者がいない場合は、「5. 看取りの希望者はいない」